

平成31年度 奥州市一般会計当初予算案について

「協働のまちづくりの定着」と「行政経営改革の着実な推進」に努めることを基本の方針と定め編成。

- ▶奥州市総合計画に掲載している事業について、事業費及び財源を精査し、最も効率的な手法により確実に推進する。
- ▶新規事業の構築や既存事業の見直しに当たっては「協働のまちづくり」の理念に基づき方策を検討した上で事業化する。
- ▶行政経営改革プランに掲載している実施項目の着実な実施に取り組む。



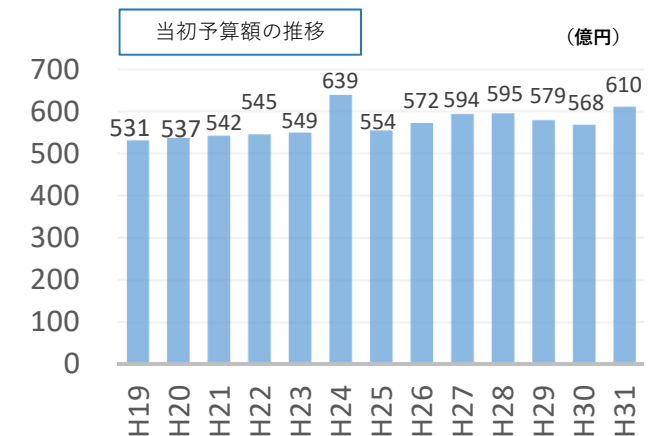
1 予算規模

	平成31年度	平成30年度 ※	増減額	伸び率
予算総額	61,021,000	56,790,254	+4,230,746	+7.4
うち一般財源額	41,625,220	39,002,974	+2,622,246	+6.7

※平成30年度は6月補正後の数値

前年度予算は骨格予算であったため6月補正後と比較し、ごみ焼却施設長寿命化事業（約30.7億円）などにより、予算総額は過去2番目に大きく、7.4%の増。

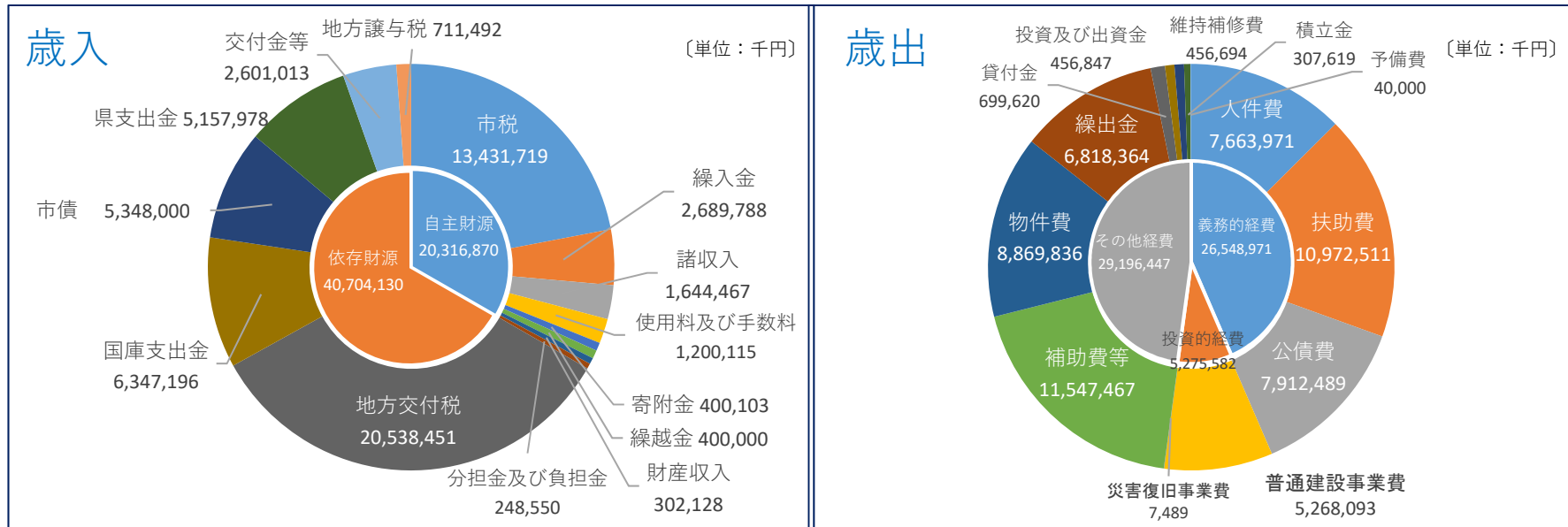
※奥州市としての最大規模は、平成24年度の638.8億円（うち旧土地開発公社精算に要する費用として92億円を措置）



※H22・H26・H30の当初予算は骨格予算のため6月補正後の予算額としています。

2 歳入及び歳出の概要

平成31年度当初予算総額 61,021,000千円



- ▶市税は、景気の拡大基調を一定程度反映し、市民税などで2.0%の増。
- ▶繰入金は財源不足に対応するため財政調整基金繰入金の増などにより31.0%の増。
- ▶寄附金はふるさと応援寄附金の増により10.9%の増。
- ▶普通交付税は、国の地方財政対策を基に、合併算定替えの段階的な削減等を勘案し、3.6%の減。
- ▶特別交付税は奥州金ケ崎行政事務組合が実施するごみ焼却施設長寿命化事業に関する震災復興特別交付税の増などにより157.0%の増。
- ▶市債は、（仮称）奥州南学校給食センター新築事業などの普通建設事業費の増により22.8%の増。

- ▶人件費、扶助費は増となったものの、公債費は元金の償還の据え置きを設けることなどにより6.7%の減。義務的経費全体としては、1.1%の減。
- ▶投資的経費は前沢北こども園新築事業、（仮称）奥州南学校給食センター新築事業などにより26.2%の増。
- ▶補助費等は奥州金ケ崎行政事務組合が実施するごみ焼却施設長寿命化事業に対する負担金の増などにより35.6%の増。
- ▶物件費は小・中学校において情報通信技術を活用できる環境を整備するための費用などにより7.9%の増。
- ▶投資及び出資金は水道事業会計への出資金の減などにより22.0%の減。

3 重点的に予算を配分した主な事業

◎ 市政発展のための戦略プロジェクト

※事業の概要はP.20～21の「総合戦略事業」一覧参照

▶ 「誇りと幸せを実感できるまちづくり」～人口プロジェクト～	245,255 千円	
・ 安定した雇用と新しい産業の創出 (観光客誘致促進事業、中小企業・小規模事業者販路開拓等支援事業、ブランド牛生産拡大事業など)	うち 111,672 千円	
・ 出会いを通じた結婚支援、子育て環境ナンバーワンへ (保育士等確保緊急対策事業、医療介護従事者修学資金貸付事業、妊産婦タクシー乗車券給付事業など)	うち 50,896 千円	
・ 体験を通じた新たな奥州ファンの開拓 (移住・定住促進事業など)	うち 26,860 千円	
・ 地域愛の醸成と、安心・安全に生活できる個性豊かな地域社会の実現 (いわて奥州きらめきマラソン運営事業、協働の提案テーブル実践事業など)	うち 55,827 千円	

※金額右のNOはP.5の主な事業のNOと一致

▶ 「世界へ発信するまちづくり」～ILCプロジェクト～ (I L C 推進事業)	17,337 千円	8
---	-----------	---

◎ 総合計画・施策の大綱別事業

※金額右のNoはP.5～19の主な事業のNoと一致

▶ みんなで創る生きがいあふれるまちづくり		
・ 地区センター管理運営事業 (地区センター指定管理料分)	321,176 千円	22
・ 地域づくり推進事業 (協働のまちづくり交付金等)	220,767 千円	24
・ カヌー競技推進事業	15,548 千円	12
・ ふるさと応援寄附事業	225,223 千円	7
▶ 未来を拓く人を育てる学びのまちづくり		
・ 教育用コンピュータ管理事業 (小・中学校のICT環境の整備など)	310,600 千円	180
・ 前沢北こども園新築事業	624,920 千円	64
・ (仮称) 奥州南学校給食センター新築事業	499,195 千円	207

▶健康で安心して暮らせるまちづくり		
・生活困窮者自立相談支援事業	31,383 千円	65
・子ども医療費給付事業	359,780 千円	53
▶豊かさの魅力あるまちづくり		
・「食の黄金文化・奥州」推進事業	12,625 千円	11
・堆肥化施設整備事業	98,000 千円	110
▶環境にやさしい安全・安心なまちづくり		
・ごみ及びし尿処理施設運営等負担事業（ごみ焼却施設長寿命化事業への負担など）	3,828,302 千円	86
・空き家対策事業	4,050 千円	83
・消防施設設備整備事業	117,422 千円	171
・地域公共交通計画策定事業	9,740 千円	29
▶都市環境・生活空間などの整備による住みよいまちづくり		
・社会資本整備総合交付金事業（道路改良工事、通学路改善等）	530,000 千円	153・154
・都市基盤長寿命化事業（道路、橋りょう、公園など）	558,079 千円	152・158・162

4 基礎的財政収支（プライマリーバランス）の状況

総合計画に登載しているごみ焼却施設長寿命化事業への費用負担や施設整備などを計画どおりに進めることにしたため、予算上のプライマリーバランスは赤字（△47百万円）となるものの、市債の抑制により、起債残高は年度末比較で21.5億円の減となる見込み。

$$(1) (\text{歳入総額} - \text{地方債発行額} \cdot \text{基金等取崩額等}) - (\text{歳出総額} - \text{地方債元利償還額等}) = \triangle 47 \text{百万円}$$

$$(2) \text{借入予定額} (53.5 \text{億円}) - \text{償還元金} (75.0 \text{億円}) = \triangle 21.5 \text{億円}$$

$$\diamond \text{平成30年度末} \cdot \text{起債残高見込額} \quad 708.9 \text{億円} \quad \diamond \text{平成31年度末} \cdot \text{起債残高見込額} \quad 687.4 \text{億円}$$